



2020年1月
令和2年新春号
総合リハビリテーションセンター
救護施設 のぞみの家
〒651-2181 神戸市西区曙町1070
TEL (078) 927-2727

新年のご挨拶



総合リハビリテーションセンター
のぞみの家 所長 塚本 浩幸

新年明けましておめでとうございます。

皆様には平素からのぞみの家の運営にあたり、格別のご指導・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、福祉分野において地域移行が叫ばれて久しく、まさに社会の潮流といっても過言ではないというほどの言葉が溢れています。

ここで私たちがしっかりと考えなければならぬのは、ただただ施設を退所して地域に住んだから地域移行というものではないということです。

実際、救護施設の場合、利用者の方が一人暮らしに移行したものの、課題を抱えたまま、地域に溶け込めず、施設あるいは病院等へ戻ってしまうというケースも少なくありません。

課題を全て解決してから、地域移行ということが最も望ましいのでしようが、実際は地域で生活をしながら、微妙な生活の変化に適応していくといったことが求められます。

そういったとき、バックアップ機能として施設本体がどれだけの許容力をもって利用者の方をサポートしているのかというところがポイントになります。そのためには、施設自身が特殊なもの、異質なものであるのではなく、地域の一機能、一翼であるという認識をしっかりと持つこと、また、自分たちの取り組みを地域へ積極的に発信していくことが必要だと考えています。

利用者の方々が抱える課題は様々で、利用者の方の数だけ課題は存在します。それらの解決に果敢に挑み続ける姿勢を持ち続けられる施設となるよう、職員一丸となって取り組んで参ります。

平成30年度 のぞみの家 事業活動計算書 (自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日

勘定科目		決算
サービス活動増減の部	生活保護事業収益	325,579,305
	経常経費補助金収益	376,460
	経常経費寄附金収益	0
	過年度収益	16,633
	その他の収益	0
	サービス活動収益計(1)	325,972,398
	人件費	172,687,315
	事業費	76,675,702
	事務費	46,083,557
	減価償却費	25,659,070
サービス活動外増減の部	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 16,040,954
	サービス活動費用計(2)	305,064,690
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	20,907,708
	収益	791,902
	その他のサービス活動外収益	791,902
	サービス活動外収益計(4)	791,902
	費用	1,764
	その他のサービス活動外費用	1,764
	サービス活動外費用計(5)	1,764
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	790,138
特別増減の部	経常増減差額(7)=(3)+(6)	21,697,846
	拠点区分間繰入金収益	6,085,000
	拠点区分間固定資産移管収益	0
	その他の特別収益	0
	特別収益計(8)	6,085,000
	固定資産売却損・処分損	2
	拠点区分間繰入金費用	45,726,000
	特別費用計(9)	45,726,002
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 39,641,002
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 17,943,156
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	84,372,944
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	66,429,788
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	39,309,000
	その他の積立金積立額(16)	22,332,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	83,406,788

編集後記

新年がスタートしました。皆様今年はどんな一年にしますか？

去年を思い返せば色々な出来事がありました。今年も平和な一年になることを願います。

まだまだ寒い日が続きます。体調にはご注意ください。

今年ものぞみの家をよろしくお願い致します。

編集委員一同

令和2年度 のぞみの家主要行事予定表

予定月日	行事名
4月	お花見(茶話会)
5月	家庭連絡会
	避難訓練(日中想定)
	春の健康診断
7月	音楽療法講座
	施設運営協議会
	施設内消毒
8月	センター盆踊り大会
9月	秋の健康診断
	地域交流観月会
10月	避難訓練(夜間想定)
11月	収穫祭
	ワックスがけ
	防災訓練
12月	年忘れ会
1月	非常食提供訓練
2月	総合防災訓練
	節分会

※ 日帰り旅行…小グループに分かれて余暇外出を実施(6月～12月)

※ 誕生日外出…誕生日に外食もしくは買い物外出を実施

※ 茶話会…毎月第2水曜日

“おんせん”と“うまいもん”でおもてなし
山陰浜坂の爽やかな春を満喫！
特別会席プラン
平日1泊2食 1室2名様利用
大人お一人様(60歳以上の方)
12,670円(税込)
写真「特別会席」の一例です
その他、いろいろなプランがございます。
詳しくはPをご覧ください！
浜坂温泉保養荘
露天風呂好評いただいております
☎(0796)82-3645
〒669-6702 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
http://www.hamasaka-ni.com/

医 務 室 便 り

知っていますか？
日本の喫煙による死者は、毎年 12 ～ 13 万人

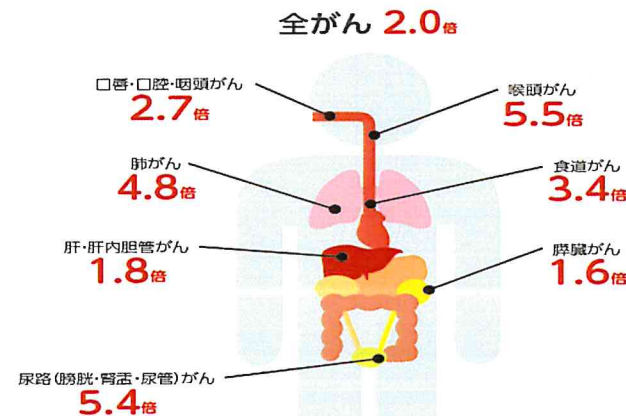
たばこを吸う人（喫煙者）の死亡率は吸わない人（非喫煙者）より高く、国内で喫煙に関連する病気で亡くなった人は年間で 13 万人、世界では年間 500 万人以上と推定されています。更に、喫煙は、一時の幸福感と引き換えに、自分の寿命を削っているのです。

リスクは、肺がんだけ？

いいえ、ほとんどのがんに関係します。

肺がんに限らず、喫煙はほとんどの部位のがんの原因になると言われています。

喫煙によるがんのリスク がんになる、またはがんで死亡する危険性は次の通りです。



※女性特有のがんとして、閉経前乳がん*3.9倍、子宮頸がん2.3倍になるとの報告もある。

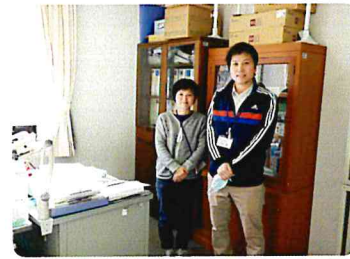
Katanoda K, et al. J Epidemiol. 2008; 18: 251-64. より作成
* Hanaoka T, et al. Int J Cancer. 2005; 114(2): 317-22.

早く禁煙すればするほど、寿命を取り戻せます。

50 歳で禁煙しても 6 年、60 歳なら 3 年寿命を延ばすことができると言われています。

いくつになっても、禁煙が遅すぎることはありません。先送りせず、禁煙する気になった時がやめ時です。

のぞみんごう 相談員便り



のぞみの家では 2 名が生活相談員として業務に勤めています。生活相談員の主な業務の 1 つとして入退所者様の調整を行っています。昨年度も年間 25 名の方をのぞみの家で受け入れ、25 名の方がのぞみの家から退所されています。施設移行にあたり安心して入所・退所が出来るよう、ご本人の将来の希望や不安を十分に受け止めた支援を心がけています。入所者様の御家族におかれましても、施設移行の際は色々ご協力いただく事もあると思いますが、ご支援の程よろしくお願いいたします。

◇自治会長からの新年のあいさつ◇



皆様明けましておめでとうございます。今年ものぞみの家の皆様が楽しく過ごせますよう頑張ります。宜しくお願いします。

自治会長 千木良 繁男

年 男 ・ 年 女 紹 介

男

福 栄 新 治	(昭和 11 年)
板 谷 浩 幸	(昭和 35 年)
田 口 聖 二	(昭和 35 年)
牧 義 明	(昭和 35 年)
生 田 弘 志	(昭和 47 年)



女

加 東 千ヨミ	(昭和 11 年)
今 井 千津子	(昭和 23 年)
岡 田 澄 江	(昭和 23 年)
眞栄田 みね子	(昭和 23 年)
山 下 泰 子	(昭和 23 年)
東 根 睦 美	(昭和 35 年)

平成という時代が終わり、新しい時代「令和」が始まりました。昨年、時代の移り変わりと同じくして、総合リハビリテーションセンター開設 50 周年という、節目の年でもありました。1 年を通して各行事や記念式典を催し、各関係機関、ボランティアの皆様、地域の皆様にお集まりいただき、感謝の気持ちをお伝えしました。今後もしようしくお願いいたします。さて、のぞみの家では、近年平均して 25 名の方が退所され、新たに 25 名の方が入所されています。時代の移り変わりによって、利用者様の状況に変化はありますが、のぞみの家に託された役割に大きな変わりはないと思っています。疲れた身体と心を休め、安全で安心した生活を送りながら今までの生活を振り返り、次のステップへの力を蓄える場所だと思っています。まさしく 50 周年記念のスローガンである「FROM HERE!」ここからを体現する施設だと思っています。これからも総合リハビリテーションセンターの一員として、また、社会のセーフティネットの役割を担う施設として、職員一同利用者様の社会復帰への一助を担いたいと思っています。



総合リハビリテーションセンター
のぞみの家 課長 三枝 知子

明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

～ 年 忘 れ 会 ～



利用者の皆様お待ちかねの年忘れ会を今年も盛大に行いました。今年はゲストにこじか園より可愛い園児たちが来てくれ、職員と一緒に歌を披露し微笑ましい雰囲気となりました。

お昼のすき焼きは、普段食が細い方も思わず箸が進んでいました。今年も年忘れに相応しい楽しいイベントになりました。



～ 収 穫 祭 ～



《たくさん採れた!!》



今年のだぞみファームは規模を拡大し、畑一面にサツマイモを育てました。こじか園、万寿の家、おおぞらのいえ、そしてのだぞみの家が集結し、皆で芋掘りを行いました。普段土に触れあうことが少ない方もいらっしゃいますが、この日は楽しく収穫できました。

第3回のぞみの家公開セミナー



令和元年12月3日に、第3回のぞみの家公開セミナーが開催され、地域から55名の参加がありました。テーマを精神障害者の自己決定から自己実現への支援とし、社会生活力プログラムの取り組み内容や、事例検討を通じて、利用者様が社会生活力を身に付けたり、地域移行に向けて努力されていることを情報発信する場となりました。

また、兵庫県健康福祉部参事兼健康局認知症対策室長の柿木先生をお招きし、医療的な側面から精神障害者の支援の在り方について講義して頂きました。

今回学んだことを活かし、地域と共に成長できるような施設を目指していきたいと感じています。

～日帰り旅行～



旬菜レストランデルパ



KOBE ANIMAL KINGDOM 神戸どうぶつ王国



かんでかんで



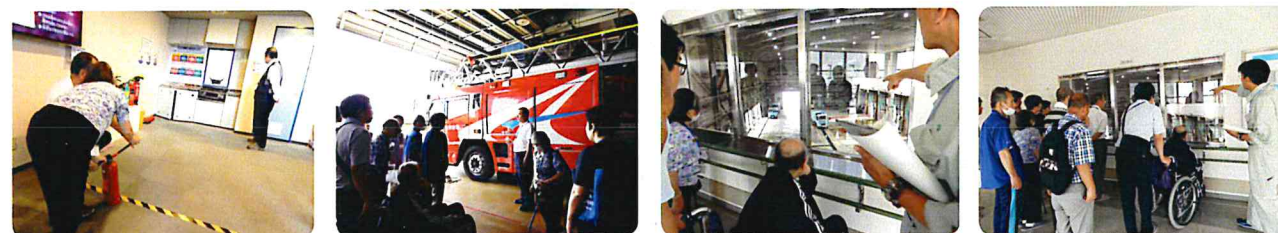
豆乃畑



今年も日帰り旅行に行ってきました。バイキングや動物園・観劇等、さまざまな場所に行きました。利用者様の楽しむ姿を見ることができ、職員一同とても嬉しく思っています。

社会生活力プログラム

毎週木曜日に社会生活力を身につけることを目指し『社会生活力プログラム』を実施しています。5月には明石市の防災センターとクリーンセンターに施設見学へ行きました。防災センターでは地震シュミレーターで揺れを体感し、また、煙の中を避難する訓練や消火器の使用体験などを通して防災について学びました。クリーンセンターでは実際にゴミ処理の流れを見学しながら学び、ゴミの分別やリサイクルの大切さを改めて気づかされました。施設見学後、ゴミの分別を意識して取り組む利用者様の姿が見られ、実践につながっています。



◇ 盆踊り大会 ◇

8月1日に『総合リハビリテーションセンター開設50周年記念』のお祝いも兼ね、盛大に取り行われた盆踊り大会。屋台の『タピオカドリンク』、タピオカ購入に奮闘した甲斐あり、まずまずの売り上げ。この日を心待ちしていた利用者様もそれぞれ、焼きそばやたこ焼き等、屋台の味を堪能し、舞台を楽しみました。中でもカラオケ大会には、のぞみの家からも出場し、『海の声』を熱唱。見事、優秀賞を獲得！仲間が力を合わせた結果が実った、とても有意義な夏の夜の一時を過ごせたと感じました。



☆ 観月会 ☆

9月6日に地域交流観月会が開催されました。ステージでは様々な歌唱発表やウクレレや和太鼓の演奏などがあり、利用者の皆様も楽しそうに鑑賞されていました。のぞみの家からも5名の方が『きよしのズンドコ節』を披露しました。お客様から合いの手や手拍子をいただき、おいに盛り上がりしました。

